

石尊山・秋間梅林

2015年3月15日

ハイク組リーダー＝
佐藤きよみ

悠遊組リーダー＝
伊藤松雄



－ 10時06分 アンリュウ君の前にて。

11時09分 石尊山の山頂で集合写真



3月山行 石尊山 ハイク組リーダー佐藤きよみ

3月15日天気予報は少々怪しげでしたがドコイ、ハイキング日和。42名乗りの大型バスで群馬県安中へ。

ここで2グループに分かれ観梅グループは伊藤会長、石尊山ハイクグループは佐藤がリーダーを勤めました。梅は七部咲きでしたがこの日は観梅ウィークの日曜日とあって豚汁のサービスがあったようです。山組はのんびりと赤穂浪士47士の石像を見学して石尊山を目指しましたが笹藪、猪のいたずらした落とし穴?はたまた標識が倒れていて地図上では登らなくては行けない所を下りそうになったりと皆様に余分な体力を消耗させていただきました。石尊山は眺望は芳しくありませんでしたが春の一日をみんなと無事にハイキング出来たことは幸せでした。

帰りは磯部温泉 恵みの湯 でさっと汗を流し帰路。

今年からバスの規定が変わったこともあり皆様に多少の束縛を



掛けてしまいました。申し訳ありませんでした。毎度のことでありますが皆様のサポートに感謝です。有り難うございました。

3月山行 秋間梅林 悠遊組 浜崎敏子

曇り空を仰ぎ見ながら、バスは春日部観光(ドライバーは山口さん)車中はハイク組と遊友組合同34名が一路～群馬県安中市に向かって、発車 オーライ。

遊友組

心配した空模様も光輝く青空に変わり、開業したての真新しい安中榛名駅でトイレタイム、北陸新幹線の通過する列車音を聴きながら関東三大梅林の一つである秋間梅林を目指す8人衆。

9:35 ハイク組と別れて出発。

駅前の区画整備された広大土地にはポツリ、ポツリと新しい住宅が建ち始めている、次に来る時は駅前商店街や飲食店等で賑わい別荘地に成っているかな? 駅前の広い真直ぐな道。歩道の土手の上に等間隔に赤い梅の木が植えられ林立した梅の花は丁度見頃で、振り返れば素晴らしい景観だった。

10:00 暫く進むと秋間梅林2km。磯部温泉3kmと書かれた大きな立ち看板。ここを右に曲がる

の(アンリュウ君)交通安全のキャラクター地蔵。安中市立秋間小学校のあたりには福寿草。ふさふさとした綺麗な葉っぱの中に黄。色可恋な花を咲かせている。またラッパ水仙も負けじと並んで咲き誇っていました。

10:15 田舎のバス停らしく一日に6本、通るらしい。唱歌と唄われている様な春の小川。清き流れ岩板の上を緩やかに滑り下りる、キンセン花に似ている(冬知らず)が所狭しと、あちらこちらに咲いている蠟梅も健在である。

10:48 若松屋食品加工所や安中農協集荷所。此の当たり、きつめの坂を登りきると、お店や駐車場が見えて来た。(裏面へ続く)



11時05分 秋間梅林にて ↑

(表面より続き)

11:00 やっと会場に着く。けんちん汁のおもてなしに多勢の人の中に並ぶ。具沢山で温かく美味しかった。もう5分遅れると品切れで食べられなかった。ラッキー。

11:15 アズマ屋の有る所でお昼。何時もながらの食事風景…ご馳走さまでした。

12:05 ハイク組と合流。確保していた席を譲る。

12:25 頂上、梅楽園食堂、お土産。日当たりが良いから、下りより咲いていた。一回りしながら駐車場に降りた、駐車場の前の方でリンゴつめ放題…。皆さんリンゴのお買い物。

13:45 磯部温泉恵みの湯に向かって出発。恵みの湯で1時間、慌ただしい湯アミでした。

14:45 後は出発地を目指して帰るのみ、車中は行きと同じ34名一緒です。伊藤会長が悠遊組コースのリーダーを引き受けて下さる事により私達、悠遊組も参加する事が出来ました。山の空気や自然に触れたり、会員の皆さんの活躍ぶりも知る事が出来、また、楽しい時を過ごしました。そして日常の生活に戻る元気の素に成って居ると思います。有難う御座います…感謝しています…。これから宜しくお願いします。



↑ 紅梅をバックで集合写真。 9時45分



↑ 秋間梅林 12時39分



↑ 秋間梅林 13時21分

3月山行「石尊山」に参加して 戸邊茂雄

もうすぐ頂上。11時02分 ↓

ハイク組秋間梅林での昼食 13時21分 ↓

3月15日(日)、石尊山の山行に参加しました。石尊山は、群馬県安中市東上秋間の長岩と呼ばれる地区にある標高571メートルの里山です。烏川と秋間川に挟まれた秋間丘陵のほぼ中央に位置し、古くから石尊信仰が行われており、所々に置かれた石の祠や山頂の石宮がその歴史を物語っています。安中市のハイキングコースにも設定されており、里山が満喫できるコースです。コースの中には赤穂四十七義士石像が祭られている岩戸山という霊地があり、義士の一人である片岡源五衛門高房の家僕で、下秋間出身の元助が義士の供養のために建立・設置したものです。

朝6:00にせんげん台で11名、6:15に春日部で23名の計34名が大型バスに乗車して出発しました。今回のドライバーは山口さんです。7:40に東松山ICで関越道に入り、8:05に上里PAで15分間のトイレ休憩をして、8:50に松井田妙義ICで高速を降りて、9:15にJR安中榛名駅に到着しました。登山支度をして9:30に駅前からのスタートです。歩き始めは舗装道路です。線路の上に来た時に丁度新幹線が通過したので写真を撮りました。舗装道路をしぼし歩くと、四十七義士石像へ行く案内板があって山道に入って行きました。10:00に四十七義士石像が祭られている岩戸山という霊地に到着しました。大きな岩の下に祭られておりました。見学した後は同じ道を少し戻り、今度は石尊山へ向かいました。途中で道を間違えたりもしましたが11:10に石尊山の頂上に到着です。頂上と言っても標識と石宮があるだけです。記念写真を撮って早々に下山しました。いつものことながら下りのスピードは速い。11:45に安中榛名駅に戻りハイキングが終了しました。

駅に待機していたバスに乗車して、次に向ったのは秋間梅林です。秋間川上流の山あい広がる秋間梅林は、50ヘクタールにわたって、約3万5千本の紅梅・白梅が植栽されています。群馬県は古くから梅の産地として全国的に有



名で、安中市の「秋間」、高崎市の「榛名」「箕郷」の3つの梅林は「ぐんま三大梅林」と言われています。バスで15分、12時丁度に秋間梅林に到着しました。梅林でお酒を飲み、お昼を食べてから13:30まで梅の花を観てまわりました。様々な種類の白梅、紅梅の他、蠟梅やマンサクなども咲いておりました。

観梅の後は温泉です。次に磯部温泉「恵みの湯」に向かいました。碓氷川の清流沿いに開けた愛妻湯の町、磯部温泉は、誰もが知っている温泉記号発祥の地です。そして、「恵みの湯」は平成8年に発掘された新源泉です。バスで15分、13:45に温泉に到着して15:00までくつろぎました。くつろぎ過ぎてマッサージチェアで眠ってしまった方がおられたようで、出発が少し遅れましたが15:23に松井田妙義ICから高速に入り、行きと同じ道を通って帰ってきました。バスの中では、いつもの通り飲み通しです。18:30に春日部に到着、せんげん台には18:45に到着しました。この後、せんげん台組の11名全員は、いつもの中華食堂で反省会を行って20:00丁度の帰宅でした。

数日前までは雨の予報であった天気も晴れて、里山歩きと観梅、温泉を楽しむ事ができました。佐藤リーダー、会計の西川さん、古村さん、ご苦労様でした。そして皆様ありがとうございました。

秋間梅林にて。 13時06分 ↓



秋間梅林にて。 13時14分 ↓



磯部温泉 あゆみの湯にて。 14時47分 ↓



4 月山行 岩根山・秩父路のお知らせ

この時期の秩父路は、花また花につつまれて埼玉のまほろばになります。

しかも岩根山はツツジで真っ赤に染まり、秩父路は淡い桃色の里に妖艶。

また長瀬の桜並木は、南北合わせて6キロの桜並木が続いて埼玉県唯一の「桜のトンネル」です。

今から10年前、遊友はこの桜のトンネルや淡い桃色の秩父路を中型バスで辿りましたが、バスではあまりにもあどけなく今回は電車利用として、また体力にあわせての桜ハイクを計画しました。

* 電車料金

せんげん台駅から羽生駅までの往復代は 1030 円。秩父路遊々フリーキップ（秩父鉄道1日乗り放題）は 1440 円。
急行券は 200 円＝2670 円＋岩根山入園料は 500 円＝3170 円です。
今回会計係はいません。各自が会計係です。

* 電車乗車券の購入方法

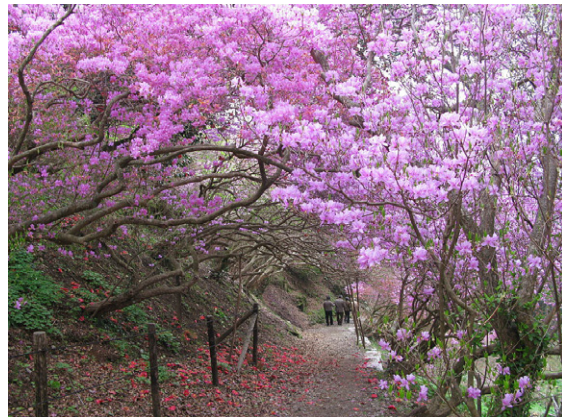
● スイカやバスモのある方は

羽生駅で、各自で秩父路遊々フリーきっぷと急行券を購入します。

● スイカやバスモがない方は

乗車駅から羽生駅までの乗車券を購入して乗車します。

羽生駅では、各自で秩父路遊々フリーきっぷと急行券を購入します。帰りの帰宅駅までの乗車券を購入しておきます。



岩根山つつじ園 ↑

* コース・タイム

せんげん台駅 7 時 0 2 分発⇒春日部駅 7 時 0 7 分発⇒羽生駅 7 時 4 0 分着

●ただし、羽生、熊谷などの駅から乗車する方は市川さんまで連絡をお願いします。

羽生駅 8 時 1 9 分発⇒寄居駅 8 時 5 9 分着（悠遊組下車）⇒野上駅 9 時 1 4 分着

* 悠遊組（担当・伊藤）

寄居駅からタクシー利用で岩根山麓へ（6 0 分）法善寺枝垂れ桜（3 0 分）一金石水管橋―北桜通り―長瀬駅―通り抜けの桜（2 0 0 円）―宝登山神社参道の桜―野土山の桜（昼食）

* ハイク組（リーダー・市川）

野上駅から歩いて―（5 0 分）―岩根山―（3 0 分）―春日神社分岐―（3 0 分）―法善寺枝垂れ桜―（3 0 分）―金石水管橋―北桜通り―長瀬駅―参道の桜―野土山の桜（昼食）

* 合流後のコース

野土山の桜（昼食）南桜通り（3 0 分）―上長瀬駅⇒お花畑駅―（3 0 分）羊山公園の桜―お花畑駅⇒羽生⇒春日部駅⇒せんげん台駅・自宅最寄り駅

* 温泉入浴

今回は入浴しません。

* 昼食

各自持参です。ただ、周辺にはお店がありますので購入するのも一興かも。

* キャンセルについて

4 月 5 日以降からのキャンセル料として保険代を徴収しますので、キャンセルを申し込むときに振込み方法を市川さんまでに知らせてください。

尚、悠遊組はタクシー代を徴収する場合がありますのでご理解願います。

* 電車車内外では

行きの電車は座れるようにと急行にしました。帰りも座ってこられるように乗車駅を秩父駅の手前駅「お花畑駅」にしましたが、座れないかもしれません。そのときは、シルバー精神を発揮してください。

復路、車内にはトイレはありません。我慢ができない方は最寄り駅で用を済ませることになります。但し全員が降車するわけにはいきませんので各自で帰宅して下さい。

お酒を飲んだり、席が離れていると大きな声で話すかも知れません。電車は公共物です。エチケットをお守りください。電車で降り遅れた場合などはリーダーに連絡をして下さい。とはいえ、基本的にはその後の行動は各自での行動になるかと思われ、が。

さらに、上長瀬駅やお花畑駅からの電車時刻は決まっています。途中で皆さんにお知らせすることになりますので、リーダーの指示を必ず聞いて守ってください。

参加者は 3 0 名以上。しかも電車利用となります。これまで養ってきたチームワークを発揮して、全員で自宅最寄り駅に帰ってこられますようご協力をお願いします。

4 月山行リーダー 市川克也・4 月悠遊組担当 伊藤

秩父地方では 4 月 12 日では桜の満開時期すでに終わってしまっているとの情報がありますので、行き先を変更する場合があります。ご承知おきください。その場合は追って連絡いたします。